

2017年3月期 決算説明会

YSK 烧津水産化学工業株式会社

平成29年5月25日

- ① 2017年3月期 業績概要
- ② 中期経営計画の進捗
- ③ 2018年3月期 業績予想

① 2017年3月期 業績概要

取締役 経営統括本部長
内山毅彦

2017年3月期 連結業績概要

(単位：百万円)

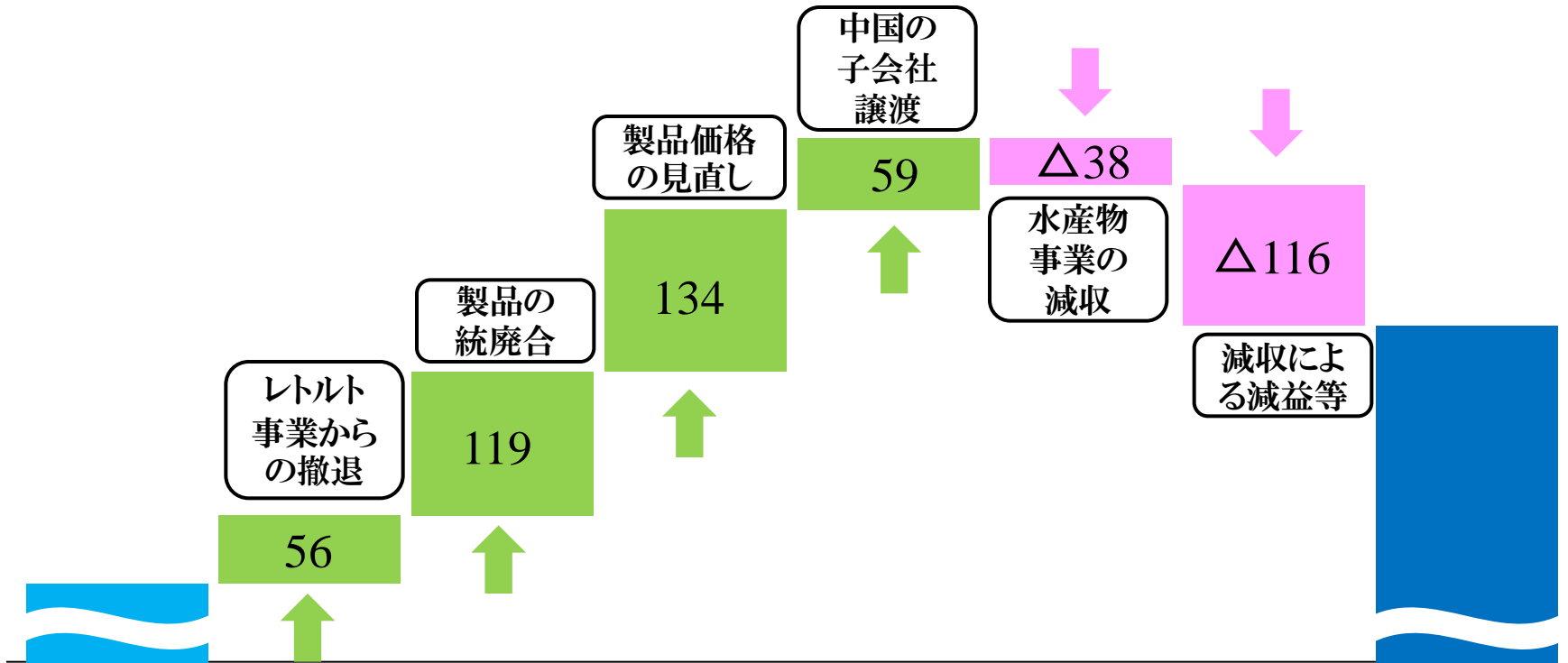
	連結				
	2016年 3月期	2017年3月期		前期比	計画比
		計画	実績		
売上高	18,583	16,000	15,248	△3,335 (△17.9)	△752 (△4.7)
営業利益	666	800	880	↑ +214 (+32.1)	+80 (+10.1)
営業利益率	3.6	5.0	5.8	↑ +2.2pt	+0.8pt
経常利益	677	850	876	↑ +199 (+29.3)	+26 (+3.1)
当期純利益	634	540	591	△43 (△6.7)	+51 (+9.6)
ROE	3.4%	2.8%	3.1%	△0.3pt	+0.3pt

連結売上高：事業構造改革に伴う医療栄養食事業の撤退（△1,238百万円）、工場閉鎖、低採算品の見直し、大連YSKの譲渡などにより△3,335百万円（△17.9%）

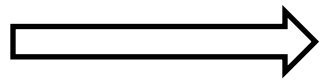
連結営業利益：減収による減益はあるものの、売価見直し、原価削減、販管費の減少などにより+214百万円（+32.1%）、営業利益率は3.6%⇒5.8%と2.2pt改善。

連結当期純利益：前期の投資有価証券の売却益などの反動で△43百万円（△6.7%）の減益。ROEは△0.3ptダウンの3.1%。

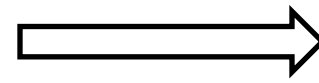
2017年3月期 連結営業利益 増減要因



16年3月期
営業利益
666百万円



営業利益
+214百万円



17年3月期
営業利益
880百万円

セグメント別 売上高

(単位：百万円)

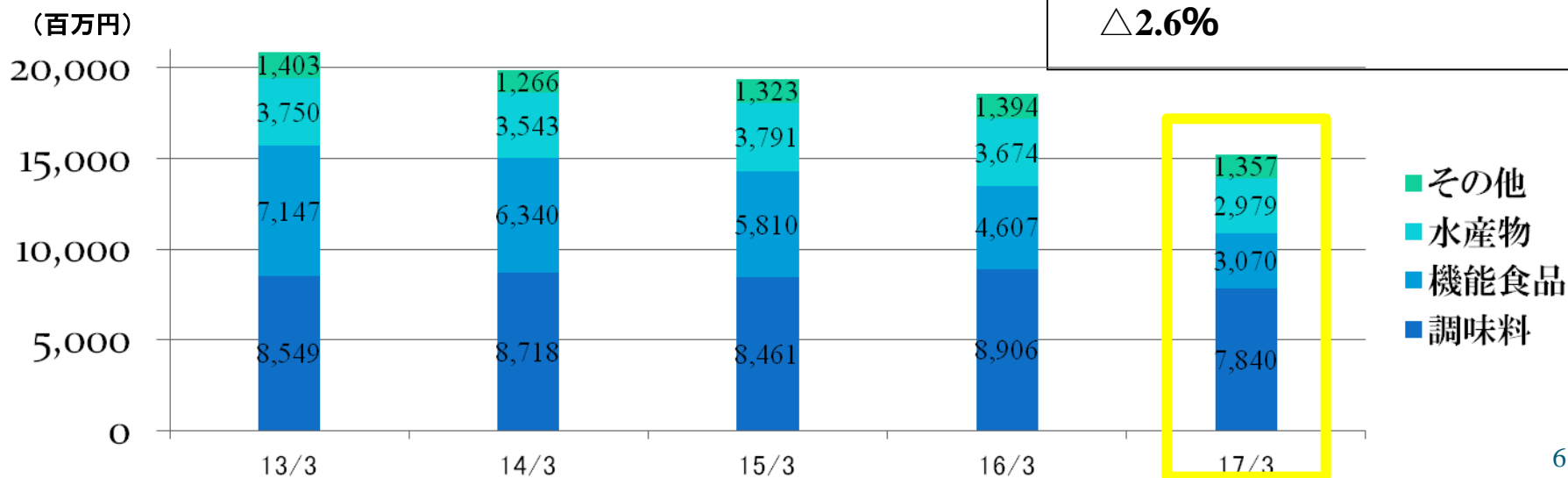
	16/3期	17/3期	
	売上高	売上高	前期比
調味料	8,906	7,840	△1,065
機能食品	4,607	3,070	△1,537
水産物	3,674	2,979	△695
その他	1,394	1,357	△36
合計	18,583	15,248	△3,335

調味料：販売品目の整理
大連YSKの譲渡により
売上高 △12.0%

機能食品：医療栄養食の撤退、
機能性素材の減収により、
売上高△33.4%

水産物：鮪の水揚量減少と
OEM加工の魚種変化により、
売上高△18.9%

その他：化粧品通販事業の
グループ内集約で売上高は
△2.6%

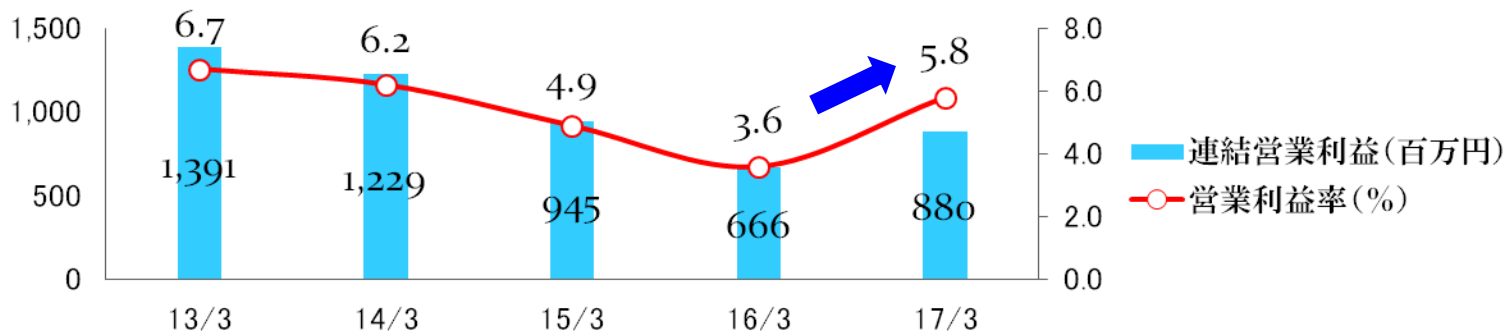


セグメント別 営業利益

(単位：百万円)

	16/3期	17/3期	
	営業利益	営業利益	前期比
調味料	654	828	+173
機能食品	620	542	△78
水産物	8	△30	△38
その他	△64	61	+126
全社	△551	△521	30
合計	666	880	+214

- ①調味料は、価格見直しなどで営業利益 +26.6%。
- ②機能食品は、医療栄養食撤退による減収で△12.6%。
- ③水産物は、売上減少で営業損失は△30百万円。
- ④その他は、化粧品通販事業の広告宣伝費の抑制により61百万円。



2017年3月期 連結貸借対照表

		2016年 3月期	2017年 3月期	増 減	主 な 内 容
資 産 の 部	流動資産	13,580	13,280	△300	現金及び預金 +218 受取手形、売掛金 △406 たな卸資産 △49
	固定資産	9,024	8,859	△164	建物及び構築物 △136 機械、運搬具 △339 建設仮勘定 △40 投資有価証券 +312 退職給付に係る資産 +45
	資産合計	22,604	22,140	△464	
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流動負債	3,737	2,597	△1,140	1年内長期借入金 △1,100 未払消費税 △193 短期借入金 +240
	固定負債	203	371	168	繰延税金負債 +173
	純資産	18,663	19,171	508	利益剰余金 +293 その他有価証券評価差額金 +214
	負債・純資産 合計	22,604	22,140	△464	

② 中期経営計画の進捗

2017年3月期～2019年3月期

「 YSK Priority 」

代表取締役社長 山田 潤

経営ビジョン

- 水産系天然素材メーカーNo.1へ

重点施策

- 収益基盤の確立
- 新規事業領域の拡大
- 人・組織機能の強化

経営目標

- YSKグループ：連結売上高170億円、連結営業利益12億円

3つの柱に経営資源(人・物・金)を
集中投入し、成長戦略を描く

収益基盤
の確立

新規事業領域
の拡大

人・組織機能
の強化

水産系天然素材メーカーNo.1へ

企業理念：天然素材の持つ無限の可能性を追求し、
“おいしさと健康”を通して豊かな生活に貢献します

糖類フコースによる体重増加の抑制効果を学会発表

**糖類「フコース」が体重増抑制
マウスで効果確認**

焼津水産化学工業は、肥満のマウスにフコースを与えたところ、体重や内臓脂肪量の増加を抑制することが認められた。

焼津水産化学工業は、昆布などに含まれる糖類の一種「フコース」を主成分とする「フコース」をマウスに投与したところ、体重や内臓脂肪量の増加を抑制することが認められた。

焼津水産化学工業は、昆布などに含まれる糖類の一種「フコース」を主成分とする「フコース」をマウスに投与したところ、体重や内臓脂肪量の増加を抑制することが認められた。

フコースの肥満抑制効果、学会で発表
焼津水産化学工業

焼津水産化学工業（東京都品川区・東京営業所、☎03-5718-7001）は、東京大学大学院 農学生命科学研究科の潮秀樹教授との共同研究で、フコースに内臓脂肪の増加を主因とする体重増加を抑制することがあることを明らかにした。先月18日から開かれた「日本農芸化学会2017年度大会」で研究成果を発表した。

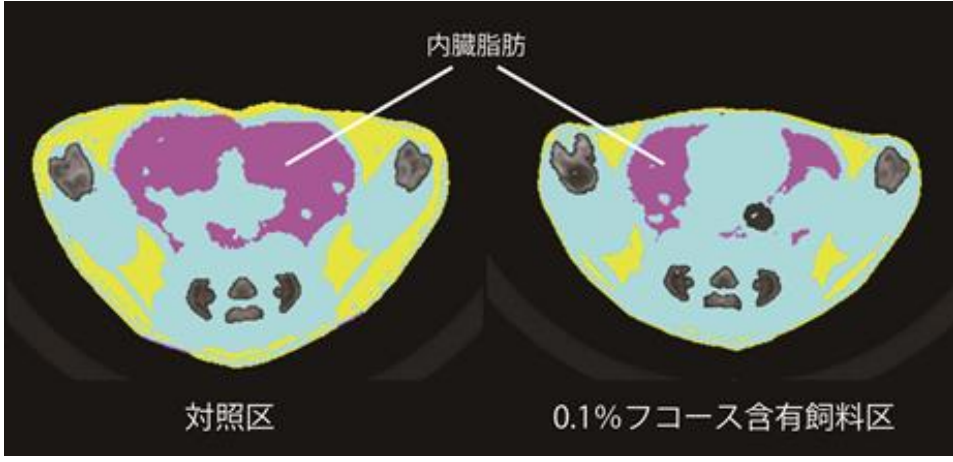
試験は、①高カロリー食によって肥満化させたマウスに対するフコースの影響および、②フコースがマウス脂肪細胞に及ぼす影響について検討した。①では、対照群と比べて0.01および0.1%フコース投与群で体重増加が有意に抑制された。また、肝脂肪量には有意な差は認められなかったものの、内臓脂肪量については、9日および26日目に有意な低下が認められた。

さらに経口投与した24時間後の肝臓の遺伝子を解析したところ、複数の脂肪代謝関連遺伝子の発現が変動し、遺伝子発現レベルでも脂質の蓄積抑制、脂質の分解促進が裏付けられた。

②では、前駆脂肪細胞から成熟脂肪細胞への分化がフコースによって遅延したほか、成熟脂肪細胞にフコースを投与すると、脂肪の分解が促進されることがわかった。研究班らは「フコースは脂質の代謝を制御して、動物試験で観察された内臓脂肪の増加を主因とする体重増加を抑制することが推測される」としている。

フコースは、昆布などの褐藻類において構造維持を担う多糖として存在する。同社では、引き続き、エビデンスのデータ蓄積を進め、来春をメドに製品化を目指す。

共同研究:東京大学 日本農芸化学会 で発表(2017年3月・ 京都女子大学)



フコース:昆布など褐藻類に含まれる多糖

2018年春に市場投入を目指す

図:フコース摂取開始9日目のマウス腹部CTスキャン画像

③ 2018年3月期 業績予想

代表取締役社長 山田 潤

2018年3月期 連結業績予想（概要）



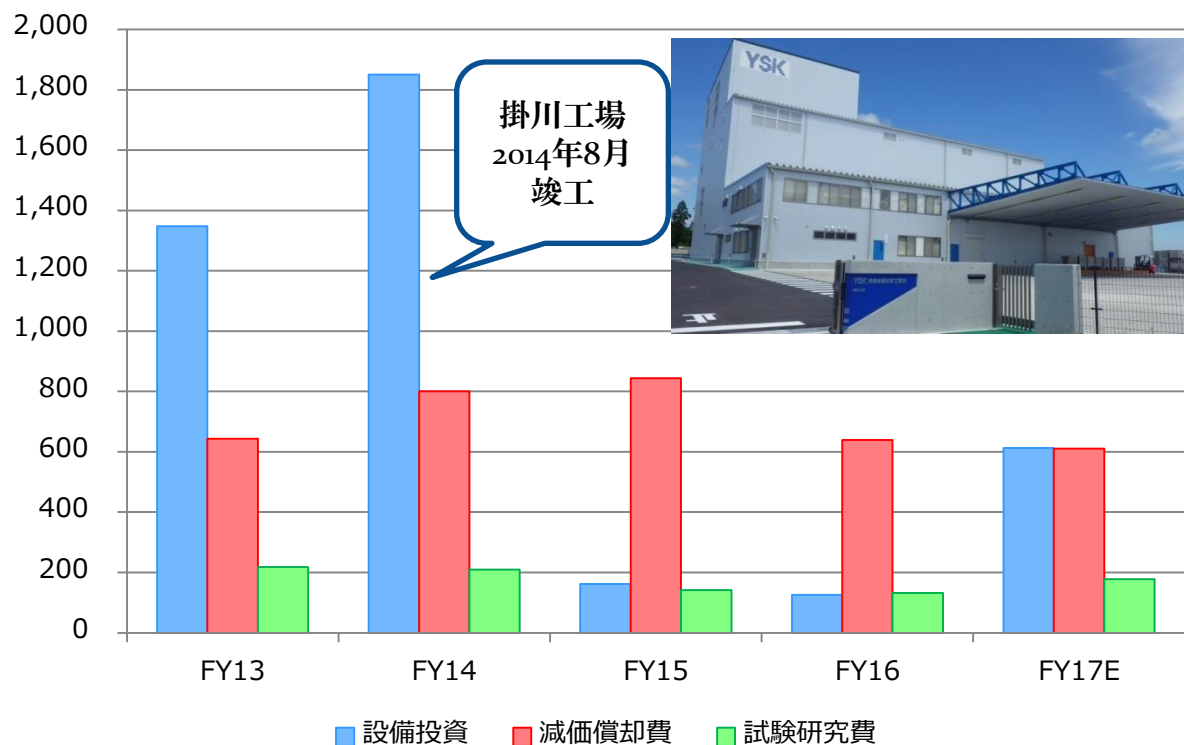
（単位：百万円、％）

	2017年3月期（実績）			2018年3月期（計画）					
	上期	下期	通期	上期計画	前年同期比	下期計画	前年同期比	通期計画	前年同期比
売上高	7,775	7,473	15,248	7,700	△75 (△0.9)	7,700	+227 (+3.0)	15,400	+152 (+1.0)
営業利益	437	443	880	400	△37 (△8.5)	600	+157 (+35.4)	1,000	+120 (+13.6)
営業利益率	5.6%	5.9%	5.8%	5.1%	△0.5pt	7.8%	+1.9pt	6.5%	+0.7pt
経常利益	437	439	876	400	△37 (△8.5)	600	+161 (+36.7)	1,000	+124 (+14.2)
当期純利益	296	295	591	290	△6 (△2.0)	410	+115 (+38.9)	700	+109 (+18.4)
ROE			3.1%					3.5%	+0.4pt

※ 配当予想：1株当たり年間24円（中間10円、期末14円）

2018年3月期 設備投資、減価償却費、試験研究費 YSK

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17E
設備投資	1,348	1,851	162	126	613
減価償却費	643	800	844	639	611
試験研究費	218	210	142	132	178

An underwater scene with a diver on the left and a large school of fish swimming towards the right. The background is a deep blue gradient. The YSK logo is in the top right corner.

YSK

焼津水産化学工業グループは
天然素材の持つ
無限の可能性を追求し、
“おいしさと健康”を通して
豊かな生活に貢献します。

注意事項

当資料には計画や見通し等が含まれています。こうした記述は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。将来の業績、経営方針などは、環境等の変化に伴い、変化があることをご留意ください。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等につきましては、当社は一切の責任を負うものではありませんのでご了承ください。

I R 問い合わせ窓口

焼津水産化学工業株式会社
経営企画部

電 話：054-202-6030

F A X：054-202-6031